

<p>◆活動団体</p>	<p>団体名： 彦六・又十郎伝保存会 連絡先： 事務局/福本久志 又は 明木公民館</p>
<p>◆活動内容</p>	<p>萩市明木では、萩往還と彦六・又十郎伝説を軸としたまちづくりと観光誘客、そしてウォーキングを通じた心と体の健康づくりに取り組んでいます。</p>
<p>H27年度</p>	<p>(主な取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「彦六・又十郎伝説」の伝承活動 <ul style="list-style-type: none"> 「彦六・又十郎」の地、明木において、紙芝居・キャラクターを活用し更なる地域づくりと意識(思いやり)の醸成を図り、明木の宝である萩往還を活用した交流を継続展開し活動した。 山口県立大学生との協同で、思いやりの言葉カードを収集、暖簾にし、萩往還沿いの明木宿駅民家軒先に掲示した。 <p><彦六・又十郎について></p> <p>萩城の築城の際に活躍し、その褒美として明木の里に口屋銭（くちやせん・萩市椿大屋にあった関所の通行税）の免除をもたらした2人の若者、古泉城（こせんじょう）の彦六と菅蓋（すげぶた）の又十郎の話。明木の恩人として、地域の人々から400年以上称えられています。</p> <p><u>萩往還道周辺の西来寺（せいらいじ）内に、二人の功績を称えた顕彰碑があります。</u></p> <div data-bbox="384 1211 1302 1536" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・萩往還観光誘致制度創設委員会 <ul style="list-style-type: none"> 萩市・山口市・防府市の地域資源である萩往還の歴史的価値に着目し、その歴史や文化を歩きながら学ぶ体験学習観光メニューの開発・発信を行い、地域ブランドの確立と交流人口の拡大を図ることや、滞在型旅行商品の造成、語り部(ガイド)の養成等受け入れ体制の整備、農林水産業との連携による特産品の開発などが、3市の商工会議所や観光協会が中心となって組織された萩往還観光誘致制度創設委員会によって進められています。